

“鮮度一番！”

No.153

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

- 1 / ひとことコラム
- 2 ～3 / 運営委員会で話し合われたこと
- 3 ～5 / 発見！ただの魅力～ひろこの突撃レポート～
- 5 / さんじょう地名メモ・・・「小路のまち・三条」
- 6 / 参加報告 編集後記

・・・ひとことコラム・・・

ケンカをした後の仲直りには何かのきっかけが必要だ。特に夫婦生活30年ともなると互いのプライドや面倒くささが先に立ち、素直に言葉も出てこない。

私たちのそのケンカも些細な夕食の出来事がきっかけであった。明日、明日31回目の結婚記念日だという日に。まあ、おかずの取り方がどうのこうのという類のものだった。

妻は家事のこともよくやってくれるし、子供や家族の面倒見も良い。そして、ちょっと自慢だけど素直で気立てがいい。でも、理論的に考えたり、物事を広く見て話したりすることが苦手だ。「お父さん、今日娘から電話があって、……」と始まったりすると、一から十まで喋らないと終わらない。だから、要するにどうしたんだと聞くと、同じことをしゃべり始める。ここは何度注意しても治らない。

ケンカのあと下の娘が妻の居ないところで「お父さん、私、ケーキ作るよ。花でも買ってくれば？」と普段は出さないレスキューレポートを出してくれた。そして「お父さん、最近短気だよ」とも。

翌朝、知人の花屋さんに注文「バラだけ31本包んでください。できれば赤系の2～3色で」と奮発。そして、当日は新潟で用があったのでデパートでちょっと高めのシャンパンを奮発。帰りに市内某肉店で和牛ステーキ用を奮発。こうなると自分も気分がいいものだから、素直に言葉が出るし腕も鳴る。シャンパンを冷やし、ステーキを作って、食事も終わり、真打の素敵な花束へ、効果テキメン。妻は娘に向かって「お父さんて、すごいよね！！」と大はしゃぎ。こんな短期間で効果的な仲直りは初めてかも。

最近も、母の部屋のファンヒーターの些細なことで、また、ケンカに。夕食後のコーヒーをぶちまけてしまった。でも、先回の劇的な仲直りの奮発三連発を思い出して、飲みながら深夜に料理を何品か作って冷静さを取り戻すようにした。翌日、少しでも妻が喜んでくれるようにと。「奮発思い出し」の妙薬がいつまで続くかわからないけれど、少し大人になったかなと思った。今度は、この「ひとことコラム」に書いたことで、短気を自制する？きっかけになればいいな、なんてキーボードを打っている。

Y. S

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成23年12月7日(水) (AM9:30~11:30)

場 所 男女共同参画センター

師も走る師走にもかかわらず、どっしりゆったりと諸事をこなす私達ってすごい！(パチパチパチ)これも年を重ねたお陰でしょうか・・・？！

次回の運営委員会は、1月11日(水)午前9:30~男女共同参画センターです。どなたでもおいでください。

1.

「大人の女性のためのしただツアー」(11/6)、

ひとひとフォーラム(11/26)参加報告

構想に半年を掛けた「大人の女性のためのしただツアー」は、あいにくの天候ではありましたが、参加者全員が、大満足で終わることが出来ました。

それもこれも、このツアーを企画してくれたしただ郷地域コーディネーターの近藤さんやご協力頂いたしただ郷の皆様、またツアーに参加して下さいました大人の女性の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

今回、ツアーに参加した&参加できなかった両方の会員から、次回のツアーを期待する声がありますので、はてさて、どうなりますやら・・・？

参加報告を6ページに載せましたのでお読み下さい。

また26日に開かれた「ひとひとフォーラム」では、ファザーリング・ジャパンの安藤哲也さんの講演、その後国定市長との座談会があり、現役の父親たちが子育てを楽しんでいるお話が聞けました。父親が、子育てを行うことは、自分育ての他に妻との関係もアップする2度美味しい体験(そうそう!)なので、是非楽しんでやって欲しいものです。もちろん私達(ばば)も応援します!!

2.

「秋のうきうきフェスタ」 反省会(12/14)について

上記反省会が、下田公民館で行われます。ツアーでお世話になったしただ郷の皆様へ感謝の気持ちを伝えるために出席しますが、会の代表の大竹晴義さんが、エコツアーガイドもやっていますらっしゃるそうなので、お会いするのが楽しみです。

3.

ネットワーク三条代表者会議 (12/1)について

市民窓口課より男女共同参画センター移設について、意見を集める会議が開けました。

当会からは、米田美智子さんに出席して頂きましたが、ネットワーク三条加盟団体からは、4つの団体(女性会議・消費者協会・食生活改善推進委員協議会・おやこ劇場)が、意見を出しました。移転先としては、南小学校が候補にあがっているそうです。

4.

忘年会 or 新年会について

忘年会の計画をたて遅れましたので、新年会の日時と会場を決定しました。

日時は、来年2月8日(水)午後6時~運営委員会、7時~新年会、会場は、ロイヤルホテルです。今回の目玉は、田辺さんが余市で仕込んできた10年物のウイスキーが、供されることです。10年物ですよ!!是非、是非、お集まり下さいませ!

5.

審議会等について

以下の報告が、ありました。

第2回三条市介護保険運営協議会報告

安室 久恵

11月11日、第2回目三条市介護保険運営協議会が開催された。

現在の介護保険の実施状況をふまえた上で、目的は次期（第5期介護保険事業計画—平成24年度から平成26年度）の計画立案に向けての会議である。第4期実施の内容と大きな変更はなく、概ね提示された素案の内容で了承された。

会議の中で22年度決算が報告される時期が遅いのではないかという疑問に対し、決算が議会の承認を受けなければならないので、議会日程にしばられているとの報告であった。他に数字的な疑問に対する質疑応答があったが、後の報告に待つ形で終わった。10月の各部会の議事内容は、書面によって報告された。

Vol.

9

発見！ した達の魅力

～ひろこの突撃レポート～

した達郷地域コーディネーター 近藤洋子

「うまれ変わったいい湯らていを支える女性支配人」

7・29水害の後、しばらくお休みをしていた“いい湯らてい”さんですが、2011年11月11日11時11分11秒にリニューアルオープンをされました。長期の休業を経て、再開を待ち望んでいたお客様も多かったようです。このリニューアルオープンにむけてのいい湯らていさんの社員の皆さんのがんばりは並々ならないものがあったようです。そこで、この6月から支配人をされている齊藤洋子さんにお話を伺ってきました。

7・29水害のときはどんな状況でしたか？——当日は朝から雨が激しく降り川も増水し、営業を中止しましたが、最終的にはお客様64名と社員20名位が帰宅出来ない状態になりました。機械室が浸水した為7年前の経験から地下部分のリクライナーなど備品関係を1階へと運び上げました。電気を止めた為、お客様を森町小学校へ避難させ炊き出しを行いました。荒沢小学校から安全な森町小学校にこられていた地元の方々も合わせると、180名位の方と共に不安な一夜を過ごしました。被害は更に翌30日未明に発生しました。建物の周囲も水没し湖のような状態となり1階フロア15cm程浸水し全ての機能が停止状態となりました。その後朝食を終え、道路の安全確認をし、お客様をご自宅までお送りしました。

地下1階迄水没しましたので、自分達だけではどうしても出来ない状態でしたが、一日も早い復旧を願い少しずつ荷物を運び出し、電気も水もない中、毎日作業を行いました。8月6日にボランティアで来てくださったたいすゞ製作所さんの方達と共にじゅうたんをはがし、泥だし作業などを行いました。今

回の水害では長期の休業を余儀なくされてしまい、お客様には本当にご迷惑をおかけしましたが、その間多くの方々から激励の言葉を頂き、復活への励みとなりました。

今回のリニューアルで心がけていらっしゃったことは？——6月からは新組織体制になり、これからは皆の意見をどんどん取り入れ、お互いにコミュニケーションを図りながら自分たちの会社は自分たちで支えるんだという意識を持ってもらいたかった、そのためにリニューアルについては社員から意見を出してもらい、自分たちのアイデアや意見が取り入れられる仕組みづくりを心がけました。社長（国定市長）からは“こんないい湯らていに”という方向性をアドバイス頂き、それを元に具体化していくのは社員たちという方法を取っていったので、とても良い状態のチームワークが取れたと自負しています。

若い人達を育てるにはどう接していらっしゃいますか？——失敗を恐れなくて仕事ができる環境づくり。最初は失敗しても責任が取れる範囲のことから任せ、慣れてきたら少しずつ大きな仕事を任せ、結果がうまくなかった場合、次はどう対処すべきかを自ら考えると言う力をつけてほしい、そういう思いで接しています。傍らで、みんなが困ったときにアドバイスできる存在でいたいと思っています。お客様と上手にコミュニケーションが取れ、お客様の求めていることをいち早く察知できるように社員を育てることが私の仕事ですね。

オープンのときはどんなお気持ちでしたか？——オープン時は、一人も欠くこと無く従業員全員と又一緒に仕事ができる事が最大の喜びでした。当日の朝礼では、社員全員が輪になり両手をつなぎ“がんばろう”と声を掛けオープンに望みました。最初の挨拶の際には100日余り休業した間のことが頭に浮かび感無量でうると来てしまい、意外と自分ってナイーブなんだなあと（笑）7日・8日の内覧会は14,000人の会員様にご案内を出して、1,500名ものご応募をいただきました。長い間皆さんが待っていて下さった事に感謝です。急きよ60名の枠を140名までに増やして対応させていただきました。

今回のリニューアルの“売り”は何ですか？——女性専用の仮眠室やリクライニングチェアなど女性が一人でも休めるスペースを多く設けました。又、ファミリー向けの休憩室には小さなお子様が遊べるコーナーを設け、授乳やオムツ替えができるベビールームも新設しました。また、借景を利用したレストランの席の工夫、たとえば八木ヶ鼻を真正面に望むカウンター席や栗ヶ岳を眺めるなど、ただの自然をたっぷり楽しめる様考慮しました。欧風レストラン店名は“ゴッツオラッテ“日帰り温泉ではチョット味わえない異空間をお楽しみいただきたいと思います。メニューは1,500円の Pasta セットから2,000円、2,500円のセットまで用意してあります。前菜には地元の野菜やわらびを使ったテリーヌにこくわソースを使い、また下田産の米粉を使用したパスタやパンなど工夫をして手の込んだメニューに仕上げてくださいました。他にも三条野菜・三条ポークを使ったり、地元の卵を使ったりしています。又、地元の皆様から古民具を提供していただき、古民家風の売店に仕上げました。

女性が喜ぶ工夫が一杯の施設になったんですね——そうですね、女性の方が気に入ってくださって利用し、ピーアールして頂き、更に男性も一緒に来て頂ける様になるといいなと思っています。ロビーもシックでモダンな大人の女性にくつろいでもらえる雰囲気になりました。——ありがとうございました。

あとがき：斉藤支配人はともしっかりした方なのですが、オープン時うるつきたなんてお話を聞くとやっぱり女性なんだなあとさらに親しみを持たさせていただきました。とても気さくな、さばさばした性格の素敵なお女性です。19歳の時に公務員試験で下田村の将来についてレポートを書かれたとき、「これからの下田村は企業誘致と観光の充実」と書かれたそうです。奇しくも東京から誘致されたゴルフ場で働かれ、その後いい湯らていにご自分で描かれていた下田村の将来像をそのまま実践されているとは、とてもすごい事だと、やはりいい湯らていに必要だからいられる方なんだとつくづく思いました。これからはただ郷の発展に力を発揮していただきたいと願っています。

また、今回のイタリアンレストランで使われているカトラリーはあの、ノーベル賞の授賞式にも使われるという燕市の山崎金属工業さんのもの。スウェーデンの王宮にいる雰囲気を感じながらのお食事もいいかもしれませんね。(^^)

八木ヶ鼻温泉 いい湯らてい

☪ 住所：三条市南五百川16-1 Tel0256-41-3011

☪ 営業時間：午前10時～午後10時（最終入館時間：9時15分）

☪ 定休日：第3水曜日 ☪ 年末年始：12月31日（土）のみ休館

さんじょう地名メモ (4)

「小路のまち・三条」

三条地名研究会 杉野真司

燕三条まちあるきも通算5回を数え、回を重ねるにつれて認知度が高まって来たように感じられます。まちあるきを実施する際、必ず参加された方々にアンケートの記入をお願いしています。アンケートを読むと、移動手段が自動車になったため、車のスピードでは見過ごしたり、車では入ることができなかつたりする場所があり、歩いたことで再発見できた風景があったとの感想をよく目にします。中でも、再発見したと感じられる風景の一つに小路を挙げられる方が多くいられます。小路は、三条のまちなみの特徴の一つと言っても過言ではありません。近年、小路のマップや看板などが整備され、まちあるきを企画する際にも、小路をコースに取り入れやすくなりました。小路を歩くことがまちあるきの楽しみの一つにもなっています。小路を巡っていると、小路が三条の歴史の語り部のような印象を受けることがあります。小路はまちなみや景観に寄与するばかりでなく、地名の観点からしても大切に残したい歴史遺産です。というのも旧三条町の小字は早くに失われてしまい、その姿を窺い知る術がありません。小字に代わるものとして、小路は三条の歴史や文化を伝える貴重な役割を担っています。

旧三条市内の小路を数えると、私見では約200超もの数に及びます。旧三条町に限定せず、重複や現在使われていないもの、どこにあったか不明なものなども含んだ積算数ですので、正確な数字ではないかもしれませんが、それでもその夥しい数に驚きを禁じ得ません。小路の由来も日々の生業にまつわるもの、住んでいた人の名や屋号によるもの、社寺に関わるものなど様々です。アベック小路にタヌキ小路、心中小路、傘（からかさ）通らん小路などユニークな名称なものもあります。どれもが命名の由来を知り得る小路ばかりではありませんが、小路の由来を知ろうとすることで、昔の面影が少しは垣間見えたような気になるから不思議です。今後も小路を題材に、楽しいまちあるきのコースを多くの方々と一緒に歩いてみたいと思っています。

【参加報告】 「大人の女性のためのしただツアー」

下田郷めぐり

H.Y

近いのに案外に知らない下田郷のコンパクトツアー。あいにくの雨だったが内容は充実していた。スノーピーク本社は環境の素晴らしさ、建築の先進性にうならされ、そして製品に保証書を付けないという自信と責任感に裏付けされた販売法はすごいと思う。きっちり経営理念が理解されて業績が伸びていくといういい循環があるのだろう。フィルター要らずのコーヒードリッパーを買ったが、なかなか使いよい。

みひろ窯工房見学はお茶をいただきながら尾崎ご夫妻と歓談。残念なのはご自慢のピクチャーウインドウから粟ヶ岳が見えなかったことだ。工房の場所の選定では眼前に広がる景色が決め手だったとか。また天気の良い日にお邪魔しよう。ここでは織部の小さな片口を手に入れた。こくわ屋藤兵衛さんではみひろ窯製の皿でこくわかレーと、全員がデザートも個人注文で美味しくいただいた。

北五百川の棚田は初めて上がって眺めた。維持するご苦労が想像できた。屋外でのクラヴィコード演奏はできず、村落集会所で古楽器の演奏を聴くとはなかなかない経験だろう。女性会議企画ツアー、次はあるのかな。

米田美智子

下田って、こんなに新鮮だったのか・・・率直にそう思いました。大好きな粟ヶ岳には、毎年のように亡き夫の後ろを追いかけて、登っていましたし、いい湯らてい、嵐溪荘にも東京の親戚をつれていっては自慢していました。

しかし、下田はそれだけではなかったのです。下田を愛する人々が、焼き物、こくわかレーと、新しい生き方に夢をもって臨んでおられました。

私も下田を愛する一人です。あのバスに乗り合わせた30人(?)近くの方はみんなそうだと思います。こくわかレーを食べながら、おしゃべりしながら、思いました。

また、下田を愛するだけでなく、何かを共有できた気分でした。その何かって、何でしょう。何かの機会に、輪になっておしゃべりしたいですね。

編集後記：

一年をしめくくる今年最後の月、師走に入りました。暗く悲しい、とてつもなく大きな出来事が新聞のトップページを埋める毎日であったように思います。胸のなかをしっかりと整理して新年を迎えたいと思います。鮮度一番は今月も盛りだくさんの元気印の内容です。どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>